

# MATCH DAY PROGRAM



第6節

**3.24** SUN  
14:00 Kick Off  
VS ガイナーレ鳥取

DF3 TAKUYA FUJIWARA  
**藤原 拓也**





# Y.S.C.C. PLAYERS

<b>1 GK</b>  Ryosuke SAGAWA <b>佐川 亮介</b> 1993.7.17 出身地：東京都 前所属：拓殖大	<b>2 DF</b>  Minoru HANAFUSA <b>花房 稔</b> 1996.7.30 出身地：東京都 前所属：国土館大	<b>3 DF</b>  Takuya FUJIWARA <b>藤原 拓也</b> 1992.12.18 出身地：徳島県 前所属：ガイナレ鳥取	<b>4 MF</b>  Kento DODATE <b>土館 賢人</b> 1992.8.23 出身地：神奈川県 前所属：いわてグルージャ盛岡	<b>5 DF</b>  Haruki OSHIMA <b>大嶋 春樹</b> 2000.7.11 出身地：兵庫県 前所属：中京大	<b>6 MF</b>  Diego TABA <b>田場 ティエゴ</b> 1996.5.31 出身地：神奈川県 前所属：国土館大	<b>7 MF</b>  Atsushi KIKUTANI <b>菊谷 篤資</b> 1997.6.18 出身地：千葉県 前所属：FCバリエーションアルヴェナウ	<b>8 MF</b>  Yutaro YANAGI <b>柳 雄太郎</b> 1995.9.18 出身地：千葉県 前所属：明海大
<b>9 FW</b>  Yusei KAYANUMA <b>萱沼 優聖</b> 1993.8.6 出身地：山梨県 前所属：ヴァンラーレ八戸	<b>10 MF</b>  Ryota YAMAMOTO <b>山本凌太郎</b> 1998.12.7 出身地：千葉県 前所属：横浜FC	<b>11 FW</b>  Jorn PEDERSEN <b>ピーダーセン世稔</b> 1997.12.12 出身地：東京都 前所属：慶應義塾大	<b>13 FW</b>  Lueman HAKIMI <b>ルクマン ハキム</b> 2002.3.5 出身地：マレーシア 前所属：KVコルトレイク	<b>14 MF</b>  Ryohji WAKIZAKA <b>脇坂 峻平</b> 1998.12.27 出身地：神奈川県 前所属：新潟医療福祉大	<b>15 MF</b>  Yasuto FUJITA <b>富士田 康人</b> 2000.12.16 出身地：福岡県 前所属：日本体育大	<b>16 GK</b>  Jun KODAMA <b>児玉 潤</b> 1997.9.8 出身地：東京都 前所属：福山シティFC	<b>17 DF</b>  Takuma HASHINO <b>端野拓馬</b> 2002.2.18 出身地：神奈川県 前所属：上武大
<b>18 MF</b>  Jukiya FUJISHIMA <b>藤島 樹騎也</b> 1996.8.26 出身地：三重県 前所属：FCマルヤス岡崎	<b>19 DF</b>  Shawn VANEERDEN <b>ヴァンイヤーデン ショーン</b> 2004.4.16 出身地：神奈川県 前所属：横浜FC	<b>20 MF</b>  Yusei OTAKE <b>大竹 悠聖</b> 2000.7.13 出身地：熊本県 前所属：桐蔭横浜大	<b>22 MF</b>  yushin OTAKE <b>大竹 優心</b> 2005.7.17 出身地：新潟県 前所属：アルビレックス新潟	<b>23 MF</b>  Hiroto DOMOTO <b>道本 大飛</b> 1998.12.6 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	<b>25 DF</b>  Shunta NISHIYAMA <b>西山 峻太</b> 1989.7.25 出身地：神奈川県 前所属：国土館大	<b>26 DF</b>  Hiroto OKOSHI <b>大越 寛人</b> 2000.9.19 出身地：埼玉県 前所属：桐蔭横浜大	<b>27 DF</b>  Wataru YAMAKURA <b>山倉 渉</b> 2005.7.17 出身地：東京都 前所属：アルビレックス新潟U-18
<b>28 FW</b>  Gbevegnon HIDAKA Alexandre <b>ベベニョン 日高 アレクサンドル</b> 2000.4.9 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	<b>30 MF</b>  Shuto KOJIMA <b>小島 秀仁</b> 1992.7.30 出身地：栃木県 前所属：ジェフユナイテッド千葉	<b>31 GK</b>  Michiya OKAMOTO <b>岡本 享也</b> 1995.5.17 出身地：神奈川県 前所属：FC岐阜	<b>32 FW</b>  Koki MATSUMURA <b>松村 航希</b> 1996.5.24 出身地：兵庫県 前所属：藤枝MYFC	<b>33 MF</b>  Rikuto HISHIMOTO <b>橋本 陸斗</b> 2005.4.2 出身地：東京都 前所属：東京ヴェルディ	<b>39 MF</b>  Koji OKUMURA <b>奥村 晃司</b> 1998.7.29 出身地：埼玉県 前所属：ザスパクサツ群馬	<b>50 MF</b>  Takahiro NAKAZATO <b>中里 崇宏</b> 1990.3.29 出身地：東京都 前所属：錦旗ポイントゲッターズ	<b>67 FW</b>  ONYE OGOCHUKWU PROMISE <b>オニエ オゴチュクワ プロミス</b> 2002.3.13 出身地：ナイジェリア 前所属：高知中央高校

## MATCH PREVIEW

### 5試合、勝ちなし。正念場を乗り越えろ。

「ここからの3試合が大事」YS横浜の倉貫 毅監督は、現状打破へのターニングポイントを次節以降の3連戦と位置づけた。

前節・琉球戦では1-2で敗戦。開幕5試合で2分2敗と勝ちがない状況に。まさに正念場を迎えている。

「球際やセカンドボールの回収のスピード。まず、自分達がやりたいことをする前にそこで負けていたら勝てるわけがない」琉球戦後、根本的な部分にフォーカスを置ききれていないチームへ富士田 康人は警鐘を鳴らした。今一度、倉貫監督が置いている"相手がイヤがるサッカー"・"戦う姿勢"という原点に立ち返らないといけない。

対する鳥取は、第4節に飾った初勝利の勢いを生かしきれずに前節はドロー。開始早々に讃岐に許した先制点を引きずりながら、終盤に追いついてなんとか意地を見せた形。上昇気流に乗るべく結果の出ていないYS横浜相手には確実に勝利をもぎ取りたいところだ。

ピックアッププレイヤーは端野 拓馬。ルーキーイヤーの今シーズンは、開幕以降徐々に頭角を現し直近5試合は連続で途中出場。松本戦では先発入りも果たしている。本職は左CBであるが、左WBとしてのプレーも可能。得意のフィードやロングボールの精度を生かし、むしろWBとしての可能性を感じさせている。

そして特に触れたいのは、端野が入ったときにチームの流れがガラッと変わるところ。本人も「意識はしてる」と言うように、加入1年目ながら積極的に声を出し、闘志を全面に出してチームに何度も勢いをもたらしてきた。この試合ではスタメン入りにも期待がかかる。



ニッパツ三ツ沢球技場のサポーター達は、初白星を今か今かと待ちわびている。

笑顔を届けられていない現状打破へは「勝つしかない」と倉貫監督は真剣な面持ちで答えた。有言実行なるか。

文：小津 那





# ガイナレ鳥取

監督：林 健太郎

21 GK 井岡 海都	55 DF 吉井 泰生	32 MF 伊川 拓
31 GK 高麗 稜太	7 MF 松木 駿之介	33 MF 長谷川 アーリアジャスール
39 GK 櫻庭 立樹	10 MF 世瀬 啓人	34 MF 曾我 大地
3 DF 坂本 敬	11 MF 東條 敦輝	42 MF 金浦 真樹
4 DF 二階堂 正哉	14 MF 普光院 誠	9 FW 富樫 佑太
6 DF 温井 駿斗	15 MF 東出 壮太	13 FW 高尾 流星
8 DF 田中 恵太	16 MF 丸山 壮大	18 FW 田中 翔太
22 DF 牛田 援	17 MF 小澤 秀充	19 FW 三木 直土
29 DF 小泉 隆斗	20 MF 常安 滯	35 FW 長谷川 夢叶
41 DF 大城 蛍	27 MF 西田 結平	

## 順位表

第5節終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点
1	F C 今治	12	5	4	0	1	7	3
2	F C 大阪	11	5	3	2	0	10	3
3	アスルクラロ沼津	10	5	3	1	1	9	2
4	大宮アルディージャ	10	4	3	1	0	8	2
5	F C 岐阜	10	5	3	1	1	10	5
6	S C 相模原	9	5	2	3	0	4	2
7	F C 琉球	8	4	2	2	0	6	4
8	松本山雅 F C	8	5	2	2	1	6	5
9	A C 長野パルセイロ	6	5	1	3	1	6	6
10	カタレ富山	6	5	1	3	1	3	4
11	福島ユナイテッド F C	6	4	2	0	2	5	7
12	奈良クラブ	5	5	1	2	2	4	6
13	<b>ガイナレ鳥取</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>8</b>
14	カマタマーレ讃岐	4	5	0	4	1	6	7
15	ヴァンラーレ八戸	3	4	1	0	3	3	6
16	ツエーゲン金沢	3	5	1	0	4	5	13
17	ギラヴァンツ北九州	2	4	0	2	2	1	3
18	いわてグルージャ盛岡	2	4	0	2	2	3	6
18	テゲバジャーロ宮崎	2	5	0	2	3	4	8
20	<b>Y.S.C.C.</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>8</b>

## TODAY'S EVENT

12:40~13:20

### 選手サイン会

【場所】ホームゴール裏



●参加選手は当日のお知らせになります

13:15頃

### サインボール投げ

【場所】メインスタンド・ホームゴール裏



ピッチ内アップ入場時に選手がサインボールを投げ込みます

試合終了後

### LTO活動

【場所】総合受付所横のLTO特設ブース



ホームゲーム終了後に、ニッパツ三ツ沢球技場周辺でゴミ拾いを行います。

## 前節の結果



第5節 2024年3月20日 (水・祝)  
15:00ko FC琉球



得点者：奥村晃司



2-1



## ホームゴール裏

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

**あぶり屋**

フランクフルト	¥600	ポテト	¥400
から揚げ(大)	¥1,000	ビール	¥500
から揚げ(小)	¥600	他アルコール	¥500
牛カルピス	¥800		
タン塩串	¥800		

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

**チェミール**

タコライス	¥800	ドーナツ	¥200
トッピングタコライス	¥900	レモンサワー	¥500
チーズ、豚肉、アスパラ		ハイボール	¥650
トルティーヤ、ナチョス	¥500	レモンスカッシュ	¥350
あげもち	¥200		
アメリカンドッグ	¥200		

## メインコンコース

### 横浜食品



**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

**South denim Kitchen**

オーパライス	¥800	バインナタチココソダ	¥500
タコスセット	¥700	レモンサワー	¥400
唐揚げ	¥500		
ヤンニョム唐揚げ	¥550		

**GOURMET MENU**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

**キッチンカー 悠**

からチャーBOX	¥1,000	温泉卵	¥100
鶏チャーシュー丼	¥900	ハイボール	¥500
窓からBOX	¥850	レモンサワー	¥500
からあげ厚片	¥500	カルピスソーダ	¥300
彩り春野菜マリネ	¥100	コーラ	¥300
		ジンジャーエール	¥300

### 横濱蔵出し



お土産や観戦中でも食べやすい  
スティックチーズケーキ!!!

# GOODS INFORMATION

**Y.S.C.C. 選手缶バッジ 2024**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

全31選手 1回300円

**Y.S.C.C. アクリルキーホルダー ガチャ**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

グッズ売場に設置 全32選手 1回500円

**Y.S.C.C. YOKOHAMA タオルマフラー**

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

1,650円

**ツインメガホン 1,400円**

**フラッグLサイズ 2,900円**





一第4節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.16** 土  
 14:00kick off  
 vs FC今治

一第8節 AWAY  
 Pikaraスタジアム  
**4.7** 日  
 14:00kick off  
 vs カタマール園城

一第12節 AWAY  
 ミクニワールドスタジアム北九州  
**5.3** 金・赤  
 14:00kick off  
 vs ギラヴァンツ北九州

一第16節 AWAY  
 長野Uスタジアム  
**6.8** 土  
 18:00kick off  
 vs AC長野パルセイロ

一第1節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**2.25** 日  
 14:00kick off  
 vs カターレ富山

一第5節 AWAY  
 タピック黒鷲ひやごんスタジアム  
**3.20** 水・赤  
 15:00kick off  
 vs FC琉球

一第9節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**4.10** 水  
 19:00kick off  
 vs 大宮アルディージャ

一第13節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**5.6** 月・赤  
 14:00kick off  
 vs SC相模原

一第17節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.15** 土  
 18:00kick off  
 vs FC岐阜

一第2節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.3** 日  
 14:00kick off  
 vs FC大阪

一第6節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**3.24** 日  
 14:00kick off  
 vs ガイナーレ鳥取

一第10節 AWAY  
 金沢ゴージャススタジアム  
**4.14** 日  
 14:00kick off  
 vs ツエーゲン金沢

一第14節 AWAY  
 いわぎんスタジアム  
**5.18** 土  
 14:00kick off  
 vs いわてグルージャ盛岡

一第18節 AWAY  
 プライフーズスタジアム  
**6.23** 日  
 14:00kick off  
 vs ヴァンラーレ八戸

一第3節 AWAY  
 サンプロ アルウィン  
**3.9** 土  
 14:00kick off  
 vs 松本山雅FC

一第7節 AWAY  
 とうほう・みんなのスタジアム  
**3.31** 日  
 14:00kick off  
 vs 福島ユナイテッドFC

一第11節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**4.27** 土  
 14:00kick off  
 vs 奈良クラブ

一第15節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.2** 日  
 14:00kick off  
 vs テグバジャー口宮崎

一第19節 HOME  
 ニッパツ三ツ沢球技場  
**6.29** 土  
 18:00kick off  
 vs アスクラロ沼津

**NEXT GAME**  **AWAY**  
**3.31 SUN 14:00ko** vs 福島ユナイテッドFC 

## 横濱フットボール今昔～唐井直SFP～

Jリーグが未だなかった37年前。  
 中区スポーツ少年団から育った若者たちが横浜の地に小さな種を播きました。それから37年間、横浜スポーツ&カルチャークラブ（Y.S.C.C.）は町クラブとして歩みを進め、2014年には新たに創られたJ3創設メンバーとしてプロリーグ参入を果たし、本年11年目の節目を迎えました。  
 Y.S.C.C.創設に関わった一人の私は、一旦は、サッカー界を離れましたが、その後Jリーグ設立と共にプロサッカークラブの強化担当、GMとして清水エスパルス、ヴェルディ川崎（東京ヴェルディ）、ジェフユナイテッド千葉、FC町田ゼルビアで経験を積み、今般Y.S.C.C.に戻って参りました。  
 フットボールと共に生きる年長者（Senior Football People）としてホームゲーム毎に、フットボールにいま、むかしを綴ります。

### 3月24日（日）鳥取戦 繋がっている

今日は、ガイナーレ鳥取を迎えての一戦。  
 鳥取の監督は林健太郎さん。  
 彼とY.S.C.C.のご縁は、創成期にまで遡る。  
 当時（87年）、ジュニアユース（中学生）の全国大会クラブユースの関東予選で、創立2年目のYSが、“エフマチ”と全国に恐れられたFC町田と相まみえた。試合は2-5でYSは敗れたが、相手チームのゲームメーカーが林健太郎さんで、YSで2ゴール挙げたのはYS、J3初代監督の有馬賢二さん。  
 エフマチの監督であった守屋実さん（FC町田ゼルビアの創設者で現在はNPO部門代表）が、私が町田でお世話になった当時、有馬さんの強烈な印象を語ってくれた。  
 その後、林さんは、桐蔭学園、駒込大、ヴェルディ川崎と歩みを進め、有馬さんは日大藤沢、日大、柏レイソルでプロ選手の経歴を始めた。（全国高校選手権神奈川大会の決勝も桐蔭 vs 日藤）二人は選手を引退してから現在までも、それぞれが、コーチ業、フロントスタッフとJリーグを支えてきた。（林さん；東京大学コーチ、ヴィッセル強化育成担当、トップチームコーチなど。  
 （天皇杯優勝、ACL出場）有馬さん、FC東京コーチ、YS監督、JFA U15代表監督、サンフレッチェコーチ（ルヴァンカップ優勝）など）  
 林さんは、ヴェルディの後に2006年ヴァンフォーレ甲府に移籍し、そこで大木武さん（現在熊本監督）に出会い、さらに円熟味を増していった。甲府が、名伯楽を得て、J1昇格を果たす伝説を作ったその中心選手。ピッチの上でのまさに司令塔であった。その大木甲府時代に、ジュビロ磐田から移籍してきた若手選手が、倉貫一毅さんであった。  
 その後、倉貫さんは、大木監督を追うように、京都へ移籍しキャリアを積んでいった。大木武さんは、清水出身の指導者で、清水東、東京農大を経て、富士通サッカー部（現在の川崎フロンターレ）で選手を経て、生まれ故郷の清水エスパルス創成期にユース監督、サテライト、トップチーム監督とキャリアを重ねた。（その若かりし頃に、オジー・アルディレスさん、スティーブ・ペリマンさんに出会ったのもその後の大木さんを語る上で、欠かせない人のご縁であろう）その後は、甲府、京都、岐阜（ここで現セルティックの古橋恭吾を見出す）など、ショートパス主体のテクニカルで一体感のあるスタイルで、現在もロアッソ熊本で旋風を巻き起こしている。（FC東京のコーチ、安間孝義さん、長野パルセイロの高木理己さんも“大木スクール”と私が勝手に呼ばせてもらっている大木さんの系譜の指導者）そして、昨年夏に出会った倉貫さん。静岡学園の10番として活躍していた彼は、ジュビロでプロのキャリアを始めたが、当時、清水の強化であった私は追いかけていた選手であった。その倉貫さんと指導者になってからの邂逅。しかも、林健太郎さん、大木武さんと尊敬できるスタイル、哲学を持っている皆さんとの繋がりが、ご縁。  
 倉貫さんとは、昨年夏、ほぼほぼ初対面ではあったが、少し話してあげれば、通じ合える何かを感じさせてもらった。そして昨年の劇的立て直し。一人たりとも見捨てない指導。  
 “必ず見ているよ”という立ち居振る舞い。理論だけでなく、人としての熱さ。誠実さ。それぞれの皆さんの個性は違うものの、出会った素晴らしい人たちはその根底には通底するものがある。  
 開幕直前日の倉貫監督のトレーニング前の言葉。“人は心で動くんや”

